

女性社員95%以上のアルページュ、女性新社長が考える働き方 9日間のリフレッシュ休暇のメリット

アルページュは、今年5月17日付で就任した野口麻衣子・新社長の下、働き方改革を図っている。4月からの2017年度は、全社員を対象にした120日の年間休日と5日間の計画有給休暇の採用に加え、一般的には、勤続10年でリフレッシュ休暇を取得できる企業が多い中、勤続5年以上の社員を対象にした9日間のリフレッシュ休暇を試験導入した。アルページュでは、販売員を含む全社員の約4分の1に当たる58人が対象になる。

「アプワイザー・リッシュ」や「リランド チュール」「ジャスグリッター」「マイスト

ラーダ」といった20～30代女性を中心にに向けたブランドと複合業態&自社ECサイトの「アルページュ ストーリー」を運営する同社は、経営スローガンである「凛とした美学」を軸に、女性が活躍できる職場環境と向き合い、ファッションを提案してきた。女性社員が全体の95%以上を占めており、平均年齢も26歳と、仕事やプライベートの両立を考える世代が多い。しかし、女性管理職率は80%で、直近3年間の女性育児休暇取得率、復職率ともに100%と圧倒的の数値だ。結婚や出産、育児などライフステージの変化が多い女性の働く環境を考え、自身も2児の母である野口社長が先導し、女性活躍支援に取り組んできたことも要因といえる。

アルページュはここ数年、事業でもセール開催店舗を縮小するなど、本社社員だけでなく、販売員の業務軽減や残業時間削減などにも努めてきた。今期は年間休日と計画有給休暇の増加も行ったことから、リフレッシュ休暇の実践は難しいのではという声もあったという。導入の理由について野口社長は、「海外旅行に行きたいという社員が多い中、年末年始などの一般的な長期休暇では、混雑や割高で行きたいところになかなか行くことができません。そこで、会社からオフシーズン中の休暇取得を許可する

ことで、仕事の現場から離れ、普段できない体験をしたり、家族で行きたいと思っていた場所に行ったり、活用してリフレッシュしてほしいと思いました」と話す。さらに、「ファッション業界でモノ作りする立場として、普段行かない土地の空気やカルチャーなどに触れ、クリエイティブな想像力やインスピレーションを養う機会にもつながれば」とも期待する。

チームの仕事を理解することで 団結力アップに

休暇中の業務については、残されたチームメンバーとの働き方の見直しになると考える。例えば、若手社員に先輩や上司の業務を引き継ぐことで、自分の仕事かどのようにつなげられているかを理解でき、また数年後自分がどのような業務に就くかを考える機会になるという。「会社として、人が不足しても稼働できる環境をつくらなければいけない」とも導入のきっかけです。20～30代の中堅社員が多く、産休を取るのに、引き継ぎができていないことが課題でした。同じチームでも隣の席の人の業務がどこまで進んでいるのか把握できていないことがあるかと思いますが、この機会に進行について話し合うことでチームワーク力もより高まると期待します。

国内アパレル企業では珍しい女性リー



野口麻衣子/アルページュ社長

PROFILE: 1974年東京都生まれ。97年立教大学社会学部卒業。08年アルページュ入社。ディレクターや営業取締役を経て、2017年5月、社長に就任。9歳と1歳の2児の母

ダーとなった野口社長。今後の企業改革について、「アルページュはファッション好きな社員が集まっています。ただし、洋服が好きということだけでなく、自分で感じたこと感動したことを共有できることが大事。そうした五感を休暇で磨くためにも、個々の気持ちや感性を尊重し、社員を育てていきたい。だからより良い環境をつくることは継続して考えていきたいです。理想の社長像は、しなやかな考え方を軸に、力強くリーダーシップを取れる人。個人的に好きな、竹林の凛とした強い印象をイメージに、両方を兼ね備えていたららと思っ



「ジャスグリッター」スタッフのモデル制作の打ち合わせの様子

時には羽を伸ばし、気分転換することで、新しい働き方を模索

interview

リフレッシュ休暇を取得する社員の中でも、今年入社8～9年目を迎えた2人の社員はすでに思い思いの休暇を過ごした。ネット事業部営業担当者(30歳)は、家族でハワイへ行った。「本社勤務者は夏季と年末年始しか長期休暇が取れず、海外旅行もなかなか行けないのでうれしかった。多忙な主人と休みを合わせられ、お互いとてもリフレッシュできました」と喜んでた。業務でのチーム体制としては、1人1ブランドの担当のため、不在中は自分の担当業務に穴を開けてしまうかと心配したが、先輩のアシスタントに引き継いだ。「ネット事業なので、普段の土日も商品の動きが激しく、アシスタントのフォローが必要な場合もあります。休暇後、

アシスタントに聞くと、思った以上に大変だったようです(笑)。これまでは私自身が仕事を抱えてしまうことがあったのですが、「こんなに大変だったんだ」と彼女も思ったようで、次のステップに向けた仕事の進め方を考える機会になったようです。お互い知り得なかったことを知ることができて、結束が深められたのではないかと思います。

複合業態の「アルページュ ストーリー」エリアマネージャー(31歳)は、大好きなミュージカルを鑑賞するため、初めての一人旅でニューヨークを訪れた。「ずっと本場のミュージカルを見たいと思っていましたが、オフシーズンの長期休暇は取れないので、仕事を辞めた時でないと行

けないと諦めていたんです。リフレッシュ休暇は、会社から「ご苦労さま」と言ってもらえているようでとてもうれしかったですね。新卒から勤続9年目を迎えて「どんどん働きやすくなっています」と話す。「これまで不満がなかったというわけではないですが、私たちの声に応えてくれるように、残業時間短縮や休日の増加などの制度が次々と見直されています。また、野口社長が就いたことでさらにその信頼は高まっているようだ。野口社長は就任時に「お客さまを笑顔にして、働くみんなも笑顔にしたい」とおっしゃっていました。女性として共感できる点も多く、企業としての目標に向かって一緒に走っているような思いがさらに強くなりました。」

66 仕事を任せられた後輩との 結束を深められたと思います

ネット事業部営業担当



ハワイへ行った。思い思いのリゾート地で気分転換にはなった

66 会社から「ご苦労さま」と言ってもらえているようでうれしかったです

「アルページュ ストーリー」エリアマネージャー



「シカゴ」など大好きなミュージカルを鑑賞。毎日1作で、滞在中に4作を鑑賞した

